

金融で未来を拓く

F P G Financial
Partners
Group

2023年9月期 第2四半期 連結決算説明資料 (2022年10月～2023年3月)



株式会社 F P G
(証券コード：7148)

- 2022年12月に新たな企業理念を制定

金融で未来を拓く

私たちは、常にお客さまと伴走し、
金融で未来を拓く、
ファイナンシャルパートナーを目指します。

上期実績

- ポストコロナの成長路線をまい進し、上期ベースでの過去最高益^{※1}を大幅に更新
 - ✓ リースファンド事業は、上期実績としてコロナ禍前の出資金販売額水準を回復し、対前年同期比で大幅な増収増益
 - ✓ 不動産ファンド事業は、海外不動産が通期予想に対し好調に進捗

通期業績予想

期末配当金

- 上期の実績を踏まえ、4月25日に通期業績予想の上方修正を公表
 - ✓ 中期経営計画の公約である「早期に過去最高益^{※2}の更新」の今年度達成を目指す
- 期末配当金（予想）は、前年比で11.5円増配となる、1株当たり61.5円に上方修正

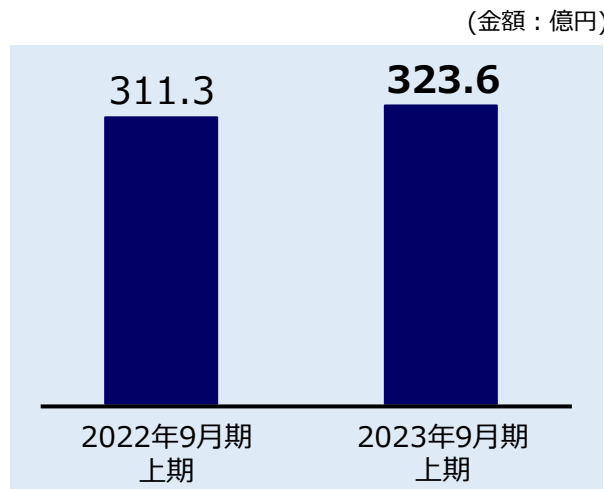
上期
トピックス

- 2022年12月に新たな企業理念「金融で未来を拓く」を制定
- 海外不動産において、米国ニューヨーク州の第1号案件は完売となり、2022年12月に組成した米国ハワイ州ワイキキの大規模ホテルの販売を開始し、出足好調

※1 上期ベースでの過去最高益 : 2017年9月期 営業利益82.6億円、経常利益84.6億円、親会社株主に帰属する四半期純利益58.4億円
 ※2 過去最高益 : 2019年9月期 営業利益144.3億円、経常利益143.9億円、親会社株主に帰属する当期純利益100.3億円

- リースファンド事業と不動産ファンド事業がけん引し、利益は対前年同期比で大幅に伸長。上期ベースでの過去最高益※を大幅に更新

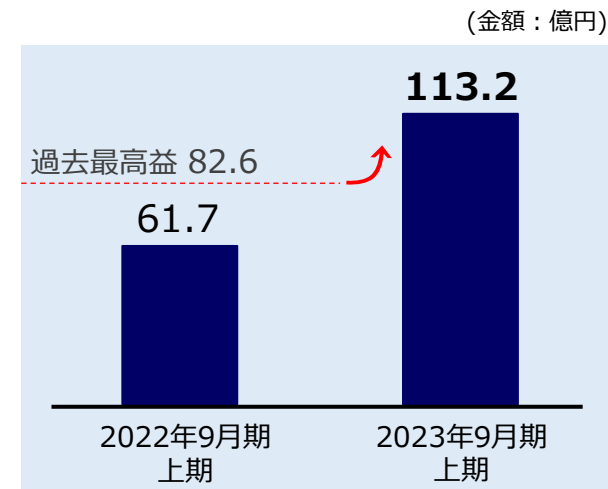
売上高



営業利益

約 1.8倍

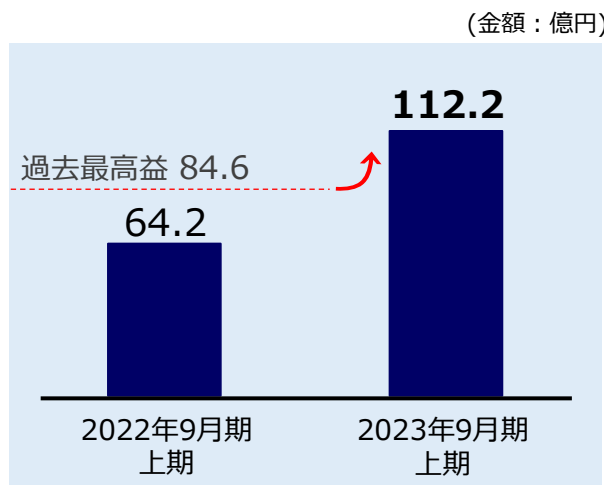
- ✓ 収益性の向上に加え、販売費・一般管理費の適切なコントロールもあり、大幅増益
- ✓ 上期ベースでの過去最高益を大幅に更新



経常利益

約 1.7倍

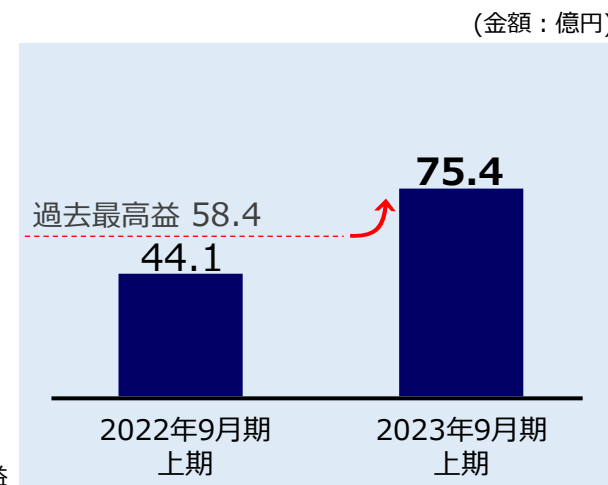
- ✓ 上期ベースでの過去最高益を大幅に更新



純利益※

約 1.7倍

- ✓ 上期ベースでの過去最高益を大幅に更新



※親会社株主に帰属する四半期純利益

※1 上期ベースでの過去最高益 : 2017年9月期 営業利益82.6億円、経常利益84.6億円、親会社株主に帰属する四半期純利益58.4億円

- ポストコロナの成長路線をまい進し、上期ベースでの過去最高益※¹を大幅に更新
- 通期業績予想を上方修正し、中期経営計画の公約である「早期に過去最高益※²の更新」の今年度達成を目指す

(金額：億円)

	上期			通期				
	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	対前年同期比	2022年9月期 実績	2023年9月期		修正予想	
					期初予想	修正予想	対前年同期比	対期初予想比
売上高	311.3	323.6	+3.9%	591.9	645.0	570.0	▲3.7%	▲11.6%
リースファンド事業	76.7	127.9	+66.8%	142.3	165.0	185.0	+30.0%	+12.1%
不動産ファンド事業	228.3	188.8	▲17.3%	436.9	470.0	375.0	▲14.2%	▲20.2%
国内不動産	228.3	177.7	▲22.1%	428.9	452.0	355.0	▲17.2%	▲21.5%
海外不動産	-	11.1	-	8.0	18.0	20.0	+149.6%	+11.1%
その他事業	6.3	6.7	+6.9%	12.6	10.0	10.0	▲21.2%	+0.0%
売上総利益	95.4	152.7	+60.0%	-	-	-	-	-
リースファンド事業	66.0	113.8	+72.4%	-	-	-	-	-
不動産ファンド事業	26.1	35.1	+34.3%	-	-	-	-	-
国内不動産	26.1	25.3	▲3.2%	-	-	-	-	-
海外不動産	-	9.7	-	-	-	-	-	-
その他事業	3.2	3.7	+14.0%	-	-	-	-	-
営業利益	61.7	113.2	+83.5%	117.4	136.0	157.0	+33.7%	+15.4%
経常利益	64.2	112.2	+74.8%	124.6	138.0	155.0	+24.3%	+12.3%
売上高経常利益率	20.6%	34.7%	+14.1%	21.1%	21.4%	27.2%	+6.1%	+5.8%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	44.1	75.4	+70.7%	84.7	95.0	105.0	+23.9%	+10.5%
売上高当期純利益率	14.2%	23.3%	+9.1%	14.3%	14.7%	18.4%	+4.1%	+3.7%
1株当たり配当金（円）	-	-	-	50.0	56.0	61.5	+11.5円	+5.5円

※¹ 上期ベースでの過去最高益 : 2017年9月期 営業利益82.6億円、経常利益84.6億円、親会社株主に帰属する四半期純利益58.4億円

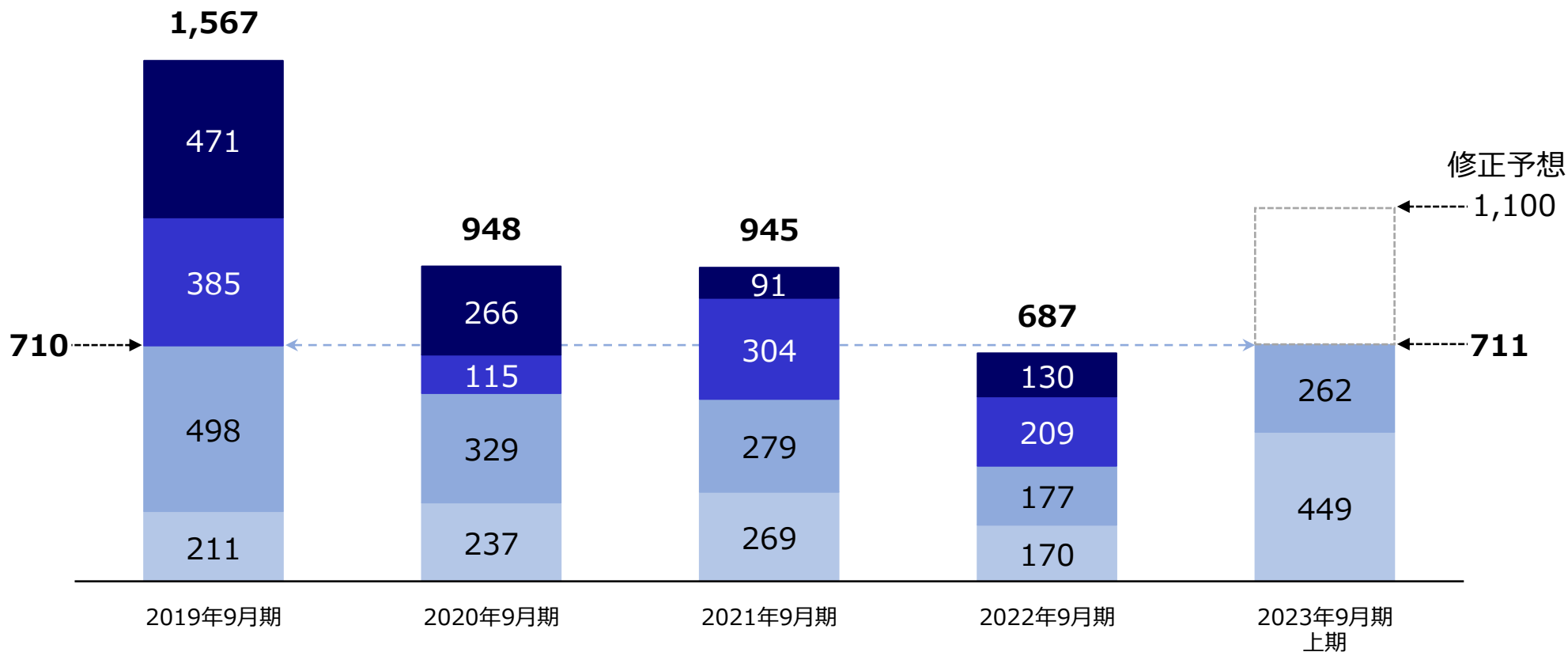
※² 過去最高益 : 2019年9月期 営業利益144.3億円、経常利益143.9億円、親会社株主に帰属する当期純利益100.3億円

- コロナ禍前となる2019年9月期上期の水準を回復した上期販売実績を受け、通期予想を900億円から1,100億円に上方修正
- 潤沢な在庫を強みに積極的な販売を継続

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

販売額の推移

(金額：億円)

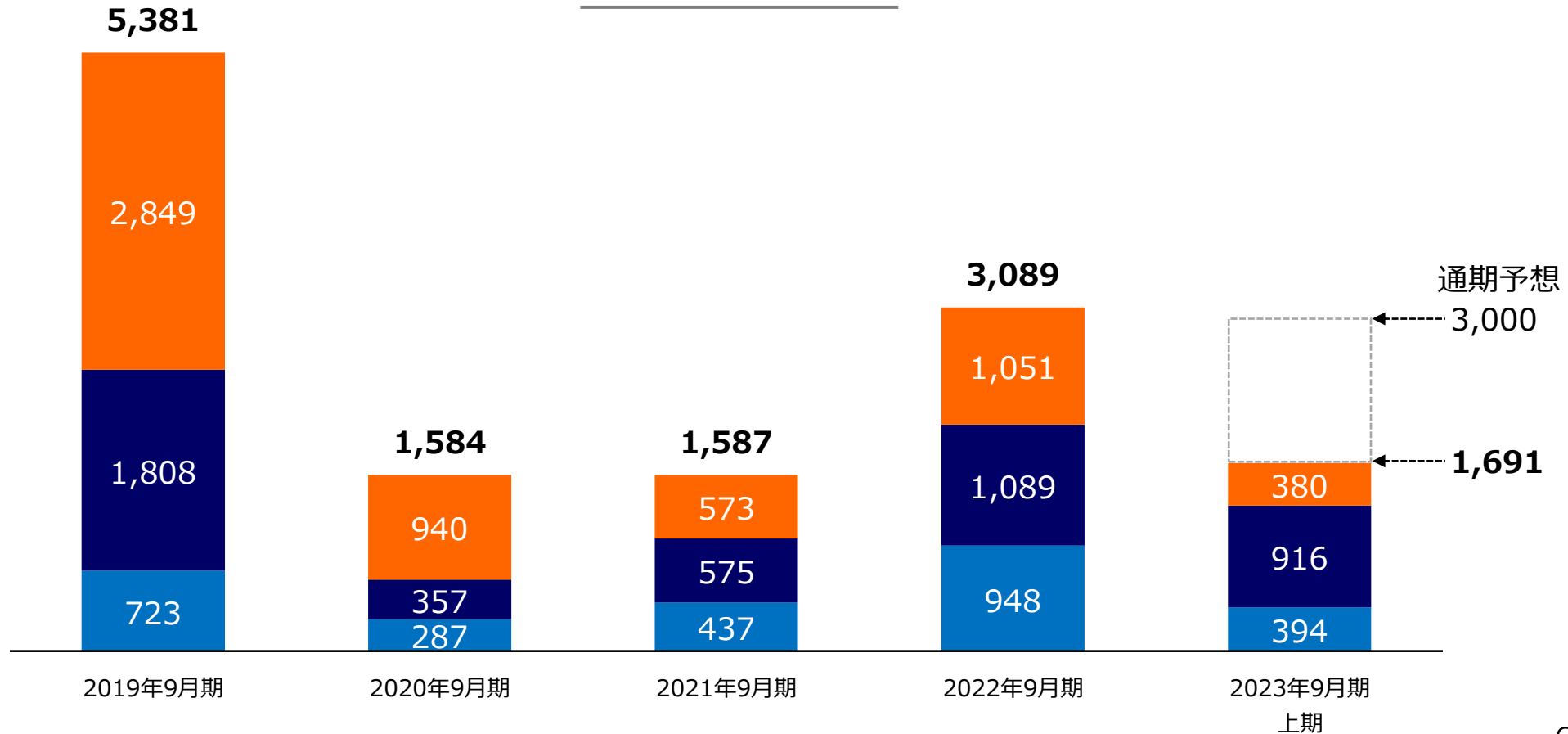


- 船舶案件を中心に組成を積極的に推進し、通期予想の達成に向けて順調に進捗
- 航空機は厳選して組成を行う方針を継続

■ 航空機
■ 船舶
■ コンテナ

組成額の推移

(金額：億円)

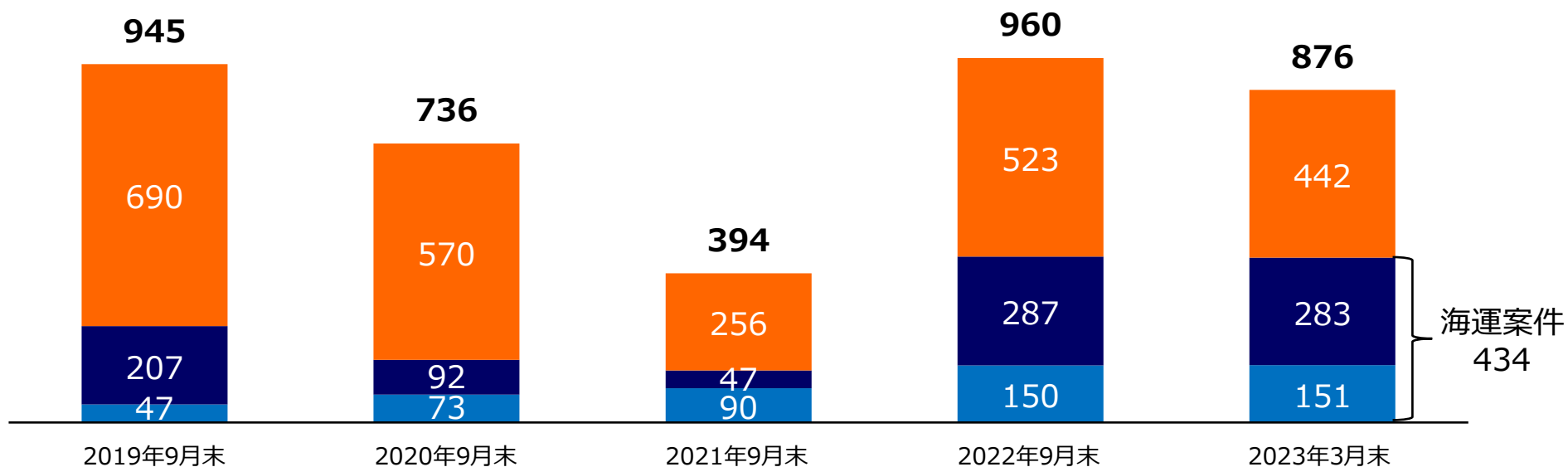


■ 海運案件、航空機案件ともに潤沢な在庫を確保

- 航空機
- 船舶
- コンテナ

在庫の推移

(金額：億円)

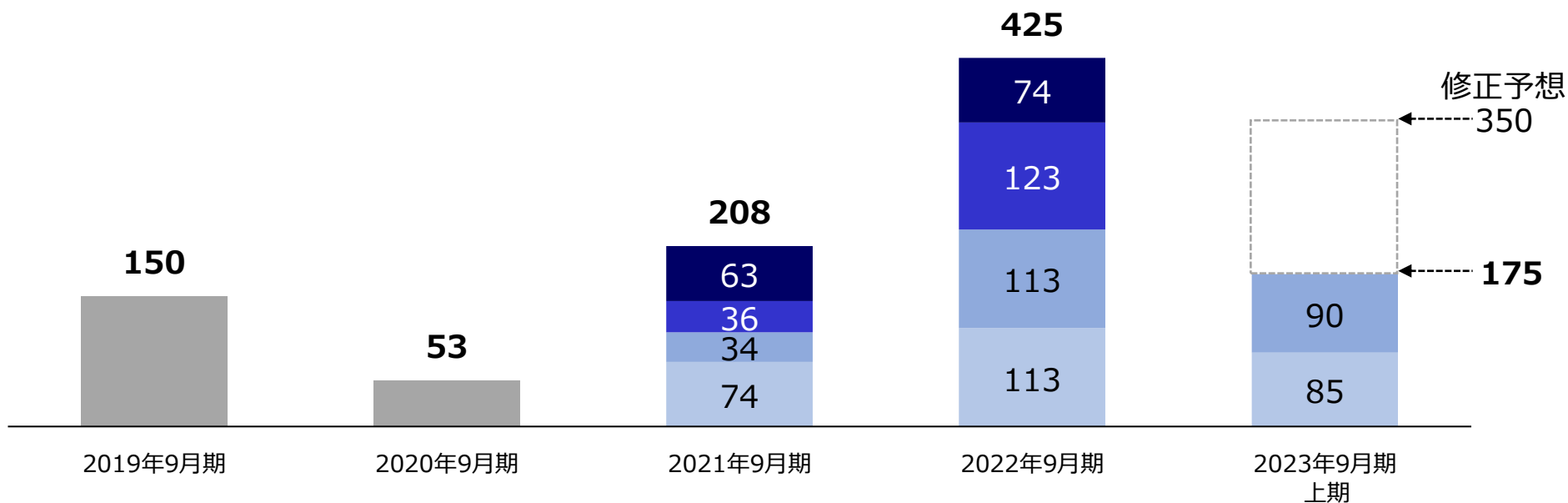


- 上期の販売実績を鑑み、通期予想を450億円から350億円に下方修正
- 新規商品の供給により、リピート投資家の底堅い需要の獲得を強化

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

販売額の推移

(金額：億円)

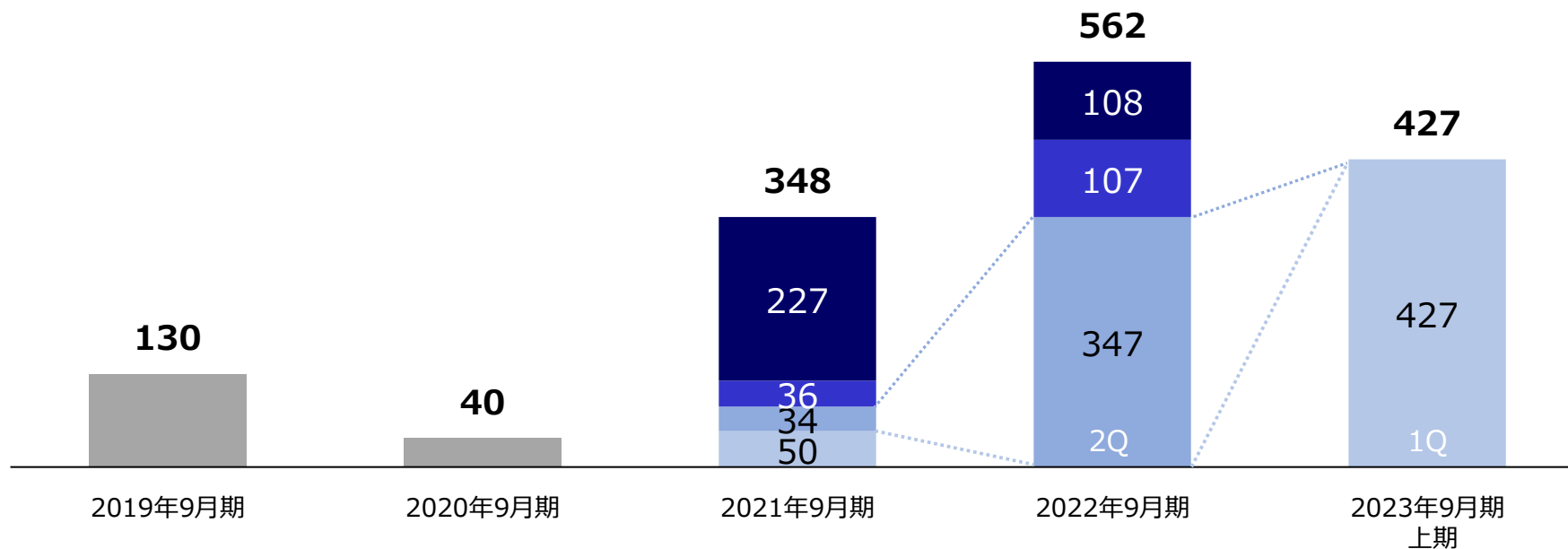


- 都心一等地の魅力的な物件の組成を継続し、半期ベースで過去最高となる組成額を達成

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

組成額の推移

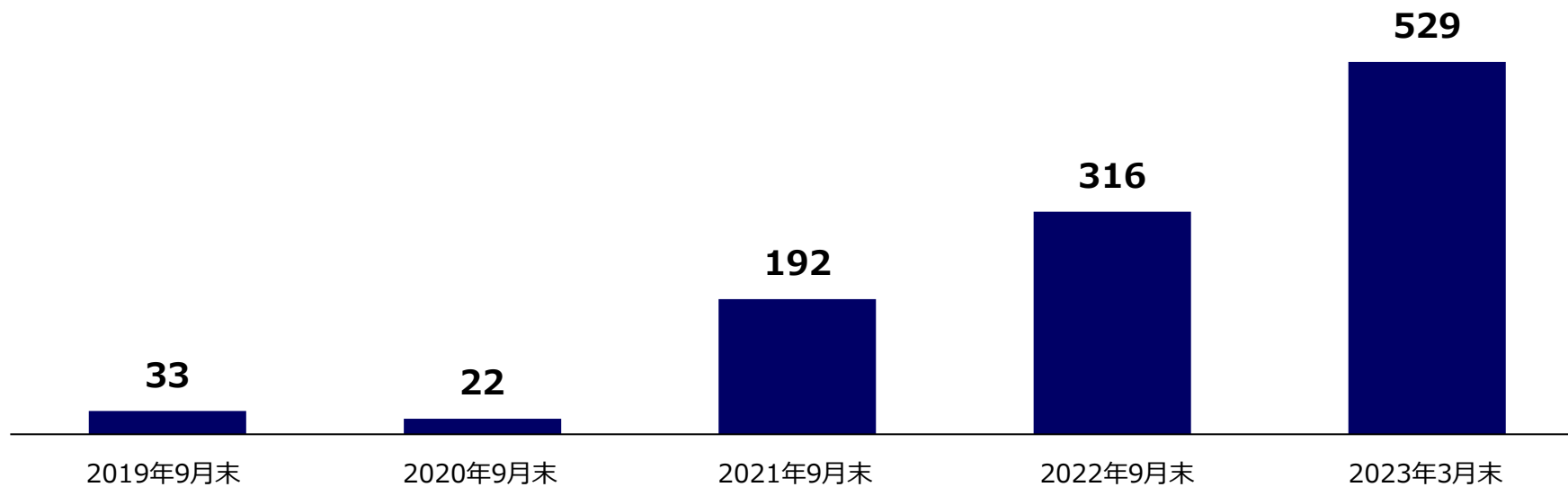
(金額：億円)



- 底堅い需要に見合う在庫を確保

在庫の推移

(金額：億円)

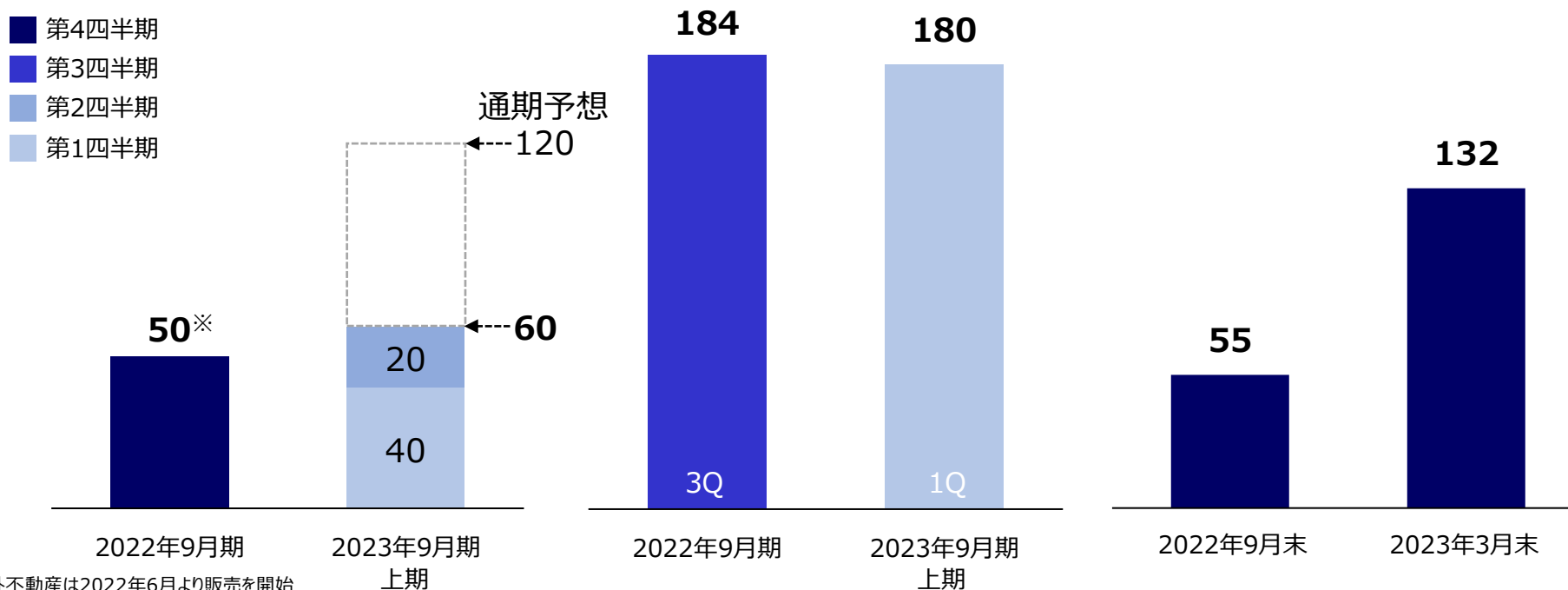


- 通期予想販売額の達成に向けて、販売は計画通りに進捗
- 米国ニューヨーク州の第1号案件は完売となり、2022年12月に組成した米国ハワイ州ワイキキの大規模ホテルの販売を開始し、出足好調
- 旺盛な需要に応えるため、第3号案件の組成に向けた取り組みを開始

販売額の推移

組成額の推移

在庫の推移 (金額：億円)



* 海外不動産は2022年6月より販売を開始



2023年4月組成
福岡大名エリアにおける第4号案件

FPGリンクス福岡大名II

最寄り駅：福岡市地下鉄空港線「天神」駅
土地面積：354.46m²
建物面積：1,520.82m²
構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付き7階建
用途：店舗・事務所・駐輪場
竣工：2020年9月



海外不動産 第2号案件
第2四半期より販売開始

Queen Kapiolani Hotel (クイーン カピオラニ ホテル)

所在地：米国ハワイ州ホノルル市
客室数：315室
土地面積：36,334ft² (約3,375m²)
構造：鉄筋コンクリート造
用途：ホテル
竣工：1969年 (2017年～2019年大規模改修工事実施)

ご参考

(金額：億円)

	2022年9月期 上期	2023年9月期 上期	増減率	
売上高	311.3	323.6	+3.9%	
① 売上原価	215.8	170.8	▲20.9%	① 売上原価 不動産取得原価、リースファンド事業 案件組成コスト、顧客紹介者への 支払手数料等を含む
売上総利益	95.4	152.7	+60.0%	
販売費・一般管理費	33.7	39.4	+17.0%	
営業利益	61.7	113.2	+83.5%	
② 営業外収益	8.1	14.5	+77.3%	② 営業外収益 一時的に立替えた出資金を投資家 に販売する際に徴収する立替利息 (受取利息として計上)、金銭の信託 運用益等を含む
③ 営業外費用	5.7	15.5	+171.4%	
経常利益	64.2	112.2	+74.8%	
税引前四半期純利益	63.9	108.3	+69.5%	③ 営業外費用 資金調達に伴う支払利息等
法人税等合計	19.9	32.8	+64.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	44.1	75.4	+70.7%	

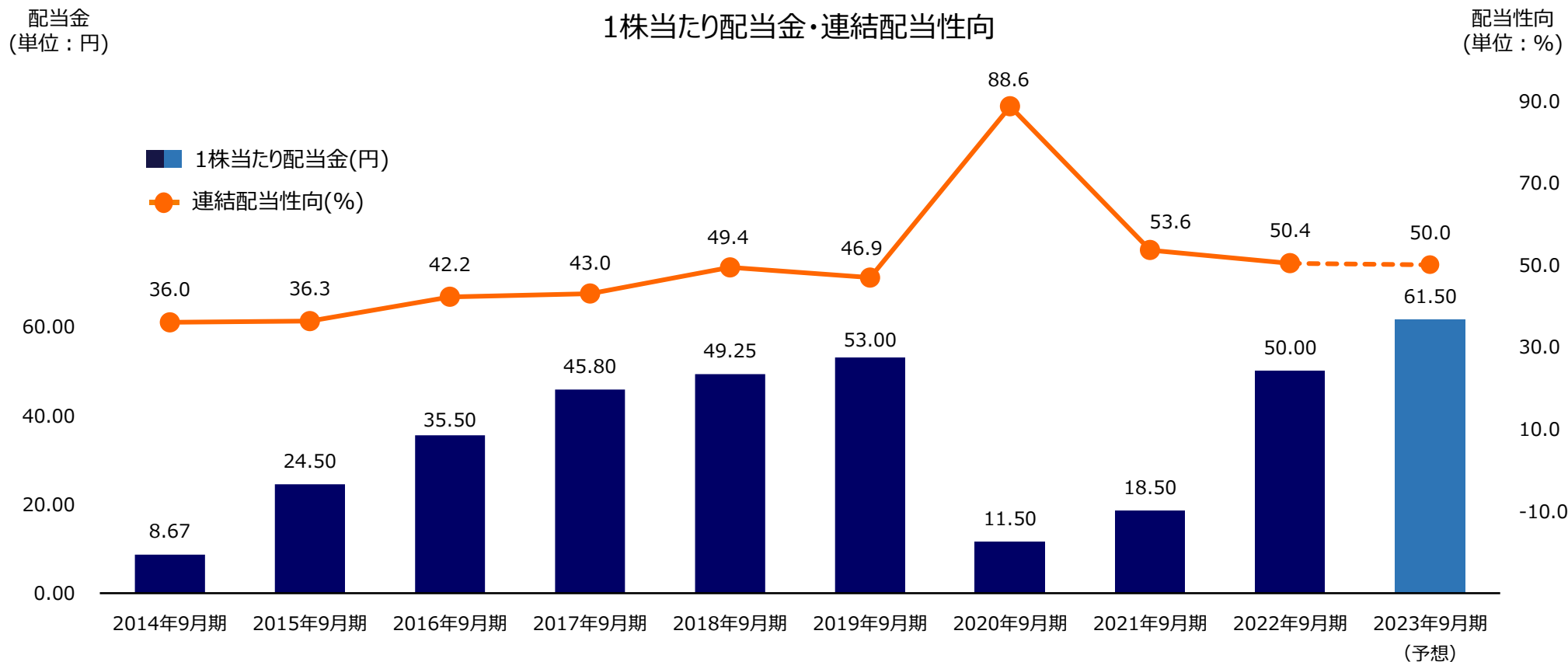
(金額：億円)

資産	2022年9月期	2023年9月期 上期末	増減
流動資産	1,527.3	1,741.6	+214.3
現金預金	131.1	139.1	+8.0
① 商品出資金	806.8	823.0	+16.2
② 金銭の信託（組成用航空機）	208.6	185.8	▲22.8
③ 組成用不動産	316.3	529.1	+212.8
固定資産	53.1	55.7	+2.6
資産合計	1,580.5	1,797.3	+216.8
負債・純資産	2022年9月期	2023年9月期 上期末	増減
流動負債	1,078.5	1,221.6	+143.1
短期借入金等	863.5	1,012.4	+148.9
④ 契約負債	129.3	128.5	▲0.8
固定負債	140.3	181.3	+41.0
長期借入金等	134.8	175.6	+40.8
負債合計	1,218.9	1,402.9	+184.0
純資産合計	361.5	394.4	+32.9
負債純資産合計	1,580.5	1,797.3	+216.8

- ① 商品出資金
リースファンド事業および不動産ファンド事業（海外不動産投資商品）において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金
- ② 金銭の信託（組成用航空機）
航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
- ③ 組成用不動産
不動産ファンド事業（不動産小口化商品）における在庫

- ④ 契約負債
主にリースファンド事業および不動産ファンド事業（海外不動産投資商品）における手数料

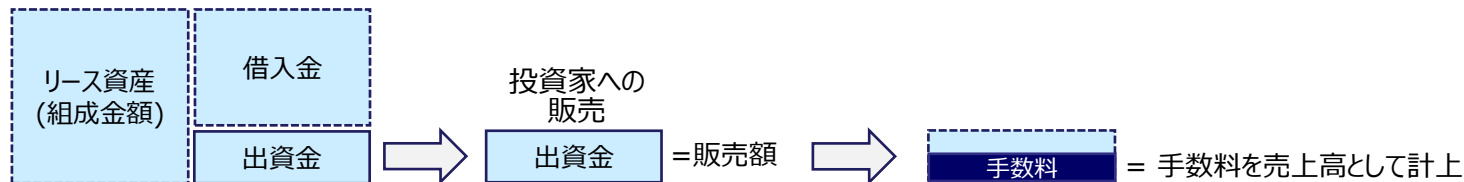
- 基本方針：持続的な成長と企業価値向上のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施
- 配当性向：連結配当性向 50%を目安とする
 - ✓ 2022年9月期 ：1株当たり50.0円
 - ✓ 2023年9月期（予想） ：1株当たり61.5円（前年比 11.5円増配）



■ 本決算説明資料では、当社の事業を以下3つの事業区分に分けて説明しております。

1. リースファンド事業

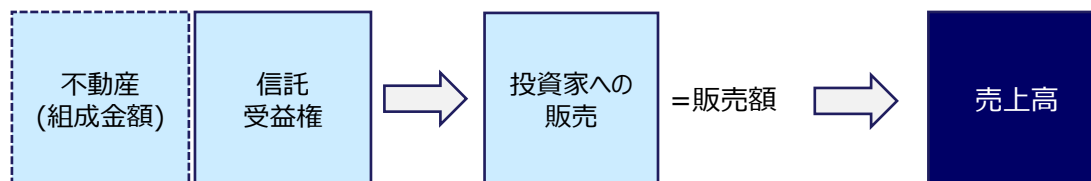
航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業（リースファンド事業）の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しています。なお、投資家への組合出資持分・信託受益権の販売額は売上高として計上していません。



2. 不動産ファンド事業

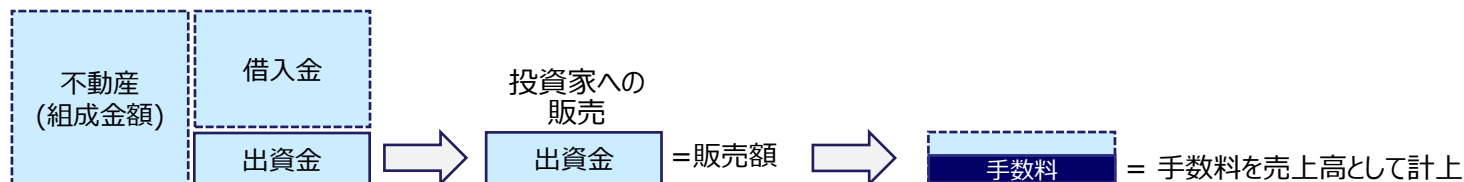
① 不動産小口化商品

株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っており、投資家への販売額等を、売上高として計上しています。



② 海外不動産投資商品

海外不動産を対象とした集団投資事業案件の組成・管理および投資家への任意組合出資持分の販売を行っています。売上高は、集団投資事業案件の組成におけるアレンジメント・フィー、任意組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等が計上されます。なお、投資家への任意組合出資持分の販売額は売上高として計上されません。



3. その他事業

FinTech事業、保険事業、M&A事業、および航空事業等を総称して、「その他事業」としています。FinTech事業の売上高は、システム開発やネットワークインフラ構築に関わる業務受託料等を計上しています。保険事業やM&A事業は手数料、航空事業は輸送等の対価を、売上高として計上しています。

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 F P G

担当部署：経営企画部

TEL: (03) 5288-5691 E-mail: ir@fpg.jp URL: <https://www.fpg.jp/ir/inquiry.html>